

自己点検・評価シート

平成25年度 第9次鳥取市総合計画

整理No.	1-(1)-②		
事務事業名	小中学校校舎等耐震補強事業	所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む
	施策	1102	教育の充実

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	(1) 小中学校校舎等の耐震判定 ①倉田小学校校舎 ②大正小学校校舎 ③米里小学校屋内運動場 ④美保小学校屋内運動場 ⑤桜ヶ丘中学校校舎 (2) 小中学校校舎等の耐震補強整備 ①明德小学校校舎 ②稲葉山小学校校舎 ③美和小学校校舎 ④東中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて屋上防水工事等を行い、施設の劣化防止や機能回復を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	耐震補強工事 大規模改修工事耐震補強計画業務 及び実施設計業務	耐震補強工事 補強計画業務 及び実施設計業務	耐震補強工事 補強計画業務 及び実施設計業務	耐震補強工事 補強計画業務 及び実施設計業務		
	年度別実績	耐震補強工事 補強計画業務 及び実施設計業務	耐震補強工事 補強計画業務 及び実施設計業務	耐震補強工事 補強計画業務 及び実施設計業務			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	442,642	964,372	476,045	742,947		
	直接経費 A	439,642	952,490	465,117	742,947		
	直接経費の財源内訳	国・県	109,331	312,670	180,882	133,675	
		地方債	303,700	402,800	275,400	604,800	
		その他	0	141,633	0	0	
		一般財源	26,611	95,387	8,835	4,472	
人件費 B	3,000	11,882	10,928				
職員数の内訳	正規職員	0.40	1.60	1.50			
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00			
	臨時職員	0.00	0.00	0.00			

4. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	1 事業の概要 (1) 耐震判定業務 ①倉田小学校校舎 ②大正小学校校舎 ③米里小学校屋内運動場 ④美保小学校屋内運動場 ⑤桜ヶ丘中学校校舎 (2) 耐震補強整備 ①明德小学校校舎 ②稲葉山小学校校舎 ③美和小学校校舎 ④東中学校校舎 2 事業の成果 ・耐震判定 5 学校・施設 ・耐震補強 3 校(完了校) 1 校(平成26年度完成)
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	小中学校耐震補強整備数	校	目標	2	5	3	4	6
				実績	2	5	3		
	(指標の説明) 小中学校耐震補強整備完了校数								
	2	小中学校施設耐震化率	%	目標	73.8	83.0	87.6		
実績				73.8	83.0	87.6			
(指標の説明) 市内全校に占める耐震補強整備校の割合									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小中学校耐震補強整備数	校	100%	100%	100%		
	2	小中学校施設耐震化率	%	100%	100%	100%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校施設の耐震不足等を考慮して、年次計画的に整備を実施している。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	学校施設の耐震不足等を考慮して、年次計画的に整備を実施している。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	年次的な整備計画を立て、必要な整備を実施。国庫補助金、合併特例債など、有利な財源確保を行っている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	年次的な整備計画を立て、必要な整備を実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	<p>小中学校は児童生徒にとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所となるなど地域の防災拠点としての役割を担っているため、その安全性の確保は極めて重要であり、耐震化を促進していく必要がある。</p> <p>耐震工法については、工事期間中の学校運営、仮設校舎、事業経費を考慮しながら、効率的な施工とするよう努めたい。</p>	
今後の課題・方向性	<p>本市では、補強が必要な建物について、緊急性の高いものから順次耐震化を施行し、平成27年度までに完了する計画であったが、青谷中学校、気高中学校については、改築が望ましいとの耐震判定結果を受けたため、耐震化完了が平成29年度までずれ込む見込みとなった。</p>	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	<p>児童生徒の安全・安心な教育環境を確保するという観点から、耐震補強が必要な建物については緊急性の高いものから順次速やかに耐震化を施行して頂きたい。また、耐震補強では対応できない校舎については、早めに改築で対応ができるよう予算獲得に努めてほしい。</p>
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	<p>目標に対する計画の遅延が生じるが、耐震判定の結果を踏まえてのものであり、妥当なものである。補強ではなく改築となった二校の整備が早期に進展することが期待される。</p>
--------	--